

2023年3月30日

一般社団法人 大阪府病院薬剤師会
代議員・会員の先生方へ

一般社団法人大阪府病院薬剤師会
会 長 竹上 学

2022年度臨時総会審議事項の結果報告

平素より本会事業に特段のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

本年3月29日に開催された2022年度臨時総会において、下記の議案がすべて承認されました。

今回の臨時総会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、少人数の現地出席と議決権行使書を合わせた開催方法といたしました。会場に参集可能であった代議員16名の先生方に現地出席を賜り、議決権行使書結果と合わせて第1号議案および第2号議案が賛成多数での承認となりましたことをご報告申し上げます。

記

臨時総会審議事項結果

第1号議案	2023年度事業計画の件	承認
第2号議案	2023年度予算の件	承認

以上

※議案内容は以下の資料をご確認ください。

一般社団法人 大阪府病院薬剤師会 2023 年度事業計画書

I. 事業活動方針

本会は、会員の学識的及び社会的資質向上を図り、これまでの事業を継続しながら、その中で重点項目を設定し、地域住民の医療と健康を守るなどの公益性の高い事業を実施する。

重点項目：

- ・患者の不利益回避を目的とした医療機関全般にわたる医療安全対策の検討とその実践に関する啓発を行う。
 - ・薬学的知識を駆使したチーム医療への関与充実及びタスクシフト／シェア推進という課題へ対応するための情報を提供する。
 - ・地域包括ケアシステムとの関連性を踏まえた地域医療への貢献を目指し、病診薬連携を含む薬剤師業務の在り方および地域における災害対策について、自らが考えて行動できる知識取得のサポートと行政及び他の医療団体等と協働できる体制を構築する。
 - ・基礎となる臨床薬学の研鑽のための研修を行う。
 - ・ICT を活用した事業展開方法や会議・研修会開催においてオンラインシステムの活用を継続し、安定した事業を展開できるような体制を維持する。
 - ・近年頻発する医薬品供給不安やその他薬事衛生に関して感度を高め、情報を収集・提供することにより、会員施設が参考とできる体制を整備する。
 - ・病院薬剤師不足・偏在解消に向け、会員施設の薬剤師確保を図る。
- 上記の重点項目を含め、以下に掲げる事業を以て地域住民の薬事衛生に寄与する。

II. 事業内容

1. 臨床薬学の教育と研修に関する事業

臨床薬学の基礎知識をはじめとした研修会、講演会、講習会、シンポジウムなどを開催することにより、専門家としての病院・診療所に勤務する薬剤師の資質向上をはかるとともに、広く府民に啓発活動を行う。

ア. 新入局薬剤師研修会の開催

新しく病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、病院・診療所薬局業務、臨床薬学に関する講義及び病院見学を行う。

1. 回数 7日間（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 200 名(予定)

イ. 中堅薬剤師研修会の開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、次世代を担う中堅層に必要なテーマで研修会を開催する。

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 120 名（予定）
3. 開催時期 2023 年 11 月（予定）

ウ. ファーマシーマネジメントセミナーの開催

指導的立場にある薬剤師への情報提供及び実践する際の問題点の整理を行う。

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 150 名（予定）
3. 開催時期 2024 年 2 月（予定）

エ. 研修講座シリーズの開催

臨床現場で実践的知識として有用な講習会をシリーズで開催する。

1. 回数 3回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 500 名(予定)
3. 開催時期 2023 年 6 月
2023 年 9 月
2024 年 3 月（予定）

オ. 実務セミナーの開催

病院・診療所に勤務している薬剤師を対象に、実務スキルの向上や新たな業務展開の一助を目的に研修会を開催する。

1. 回数 2回（予定）
2. 対象人員 薬剤師、約 300 名（予定）
3. 開催時期 2023 年 8 月、2024 年 2 月（予定）

カ. 患者支援業務に従事する薬剤師に対する研修会の開催

薬物治療中の患者支援により、地域医療を視野に入れた薬剤師を養成するための研修会を開催する。

1) 薬物療法と患者ケアのセミナー

新薬情報、病態に基づく最新の薬物治療のセミナー

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名（予定）

2) 日常業務なんでも相談会

服薬支援業務に必須の知識とスキルの習得やマネジメントを検討する相談会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50 名（予定）

3) 症例から学ぶ会

患者アウトカムの貢献に向けて、薬物療法の課題を共有し、機能を越えた医療連携で患者支援を検討する会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 60 名（予定）

4) 医療情報の使い方セミナー

患者ケアに向けた行動計画に必要な医療情報を知り、その使い方を学ぶセミナー

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名（予定）

キ. 小規模病院研修会の開催

比較的小さな規模の病院、施設、診療所に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師の業務支援を目的に研修会を開催する。

1) 小規模病院研修会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名（予定）

2) 薬剤師がかかわる倫理問題の実例検討会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50 名（予定）

3) 副作用を深める症例検討会

1. 回数 1回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 50 名（予定）

ク. チーム医療推進研修会の開催

「チーム医療」に関わる業務を遂行するにあたり、臨床現場で実践的知識として有用で必要な情報・技能・知識を提供すべく講習会を開催する。

1. 回数 3回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 300 名（予定）

ケ. 精神医学、精神薬学に関する講習会の開催

主に精神科病床や外来を有する病院に勤務する薬剤師、また保険薬局に勤務する薬剤師の臨床の場に役立つ講習会の開催

1. 回数 4回（予定）
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 320 名（予定）

コ. 病院・診療所薬剤師業務の推進・支援を目的とした出版物等の企画・編集・発刊

「2023 年度版 新入局病院診療所薬剤師研修テキスト」の編集・発刊、その他に

も新たな出版物等の企画、出版等を行う。また、会員施設の特徴や魅力について就職を希望する薬剤師および薬学生に伝えるため、施設紹介の作成を行う。

2. 薬学教育における実務実習受入のための体制整備・充実に関する事業

薬学部学生の実務実習受け入れ体制の整備と充実を図るため、病院・薬局実務実習近畿地区調整機構および薬科大学（薬学部）との連携、実務実習指導薬剤師の養成事業並びに啓発活動を行う。

ア. 薬科大学（薬学部）との情報交換

イ. 実務実習指導薬剤師の養成・確保のための啓発活動

ウ. 実務実習指導薬剤師の養成事業（座学講習会 講座 ①、②、③）

1. 回 数 2回（予定）

エ. 実務実習指導薬剤師の更新講習会の開催（座学講習会 講座 ④）

1. 回 数 2回（予定）

3. 専門性の高い薬剤師育成のための事業

認定薬剤師及び専門薬剤師取得を目指す会員への知識習得の補助となる講習会を開催して、特定の専門分野に知識・技術を深く修めた薬剤師を育成し、地域医療並びに保健福祉医療の向上に寄与する。

ア. 認定薬剤師及び専門薬剤師育成のための講習会・ワークショップの開催

1. 回 数 講習会 12回（予定）

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 800 名（予定）

4. 医薬品の安全性・有効性の確保並びに適正使用のための情報の収集と評価・伝達に関する事業

学術情報委員会が開催する新薬調査会で医療用医薬品の情報収集と評価の確認を行い、その調査事項を広報誌『O.H.P.NEWS』に掲載するとともに、医療用医薬品の安全性に関する情報、適正使用の情報などの伝達を行う。また、医薬品情報の収集・評価・提供に関する研究を行う。

ア. 新薬調査会を年 11 回開催

イ. 医療用医薬品の安全性に関する情報提供及びそのための研究

ウ. 医療用医薬品の適正使用、安全性確保のための情報伝達の企画

エ. 医療用医薬品の副作用調査

5. 患者の不利益回避に関する事業

医薬品だけでなく医療機器・再生医療等製品も含め、安全な薬物療法を提供するために薬剤師として必要とされる情報の提供、研修会の開催など、会員へのフィードバックを行う。また、各施設での医療安全上の対策に関する相談の応需、製薬会社等との意見交換を行う役割を担い、必要な情報を会員向けに発信する。

（到達目標）

1) 医療事故の原因を見極め、再発防止策を提案できる人材の育成

2) インシデント・アクシデント報告の重要性について認識を深め、事故防止対策の実施、評価を行うことができる人材の育成

3) リスク感性の向上、医療事故防止のためのリーダーシップを発揮できる人材の育成

ア. 医療安全研修会の開催

1. 回 数 2回（予定）

薬剤師の医療安全に関する知識の底上げをはかることを目的に、医療の質の向上と安全（主として薬剤関連事故防止）をテーマにした研修会を開催する。

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 100 名/回（予定）

3. 開催時期（予定） 2023 年 6 月、2024 年 2 月

イ. 医薬品安全管理責任者等交流会の開催と業務支援

1. 回数 1回（予定）
各病院・診療所で任命された医薬品安全管理責任者等を対象とした交流会を開催し、医薬品の安全使用のための具体的な方策について情報交換を行う。
 2. 開催時期 2023年9月（予定）
 - ウ. 医薬品安全に係る情報発信のためのツールの提供（関連委員会との連携含む）
各施設等で開催している医薬品安全に係る研修会等に関する資料を収集、その他医薬品安全に係る情報を収集、その概要をデータベース化し、提供する。医薬品安全に関する情報を他職種や施設内で活用できる形式にまとめた「医療安全お役立ち情報」を発信する。また、委員会で主催した研修会記録の活用について具体的に検討する。
 - エ. 病診薬連携の推進と他職種との情報交換（関連委員会との連携含む）
ケア移行期の薬剤安全に関する情報共有など、病診薬連携による医療事故防止対策について具体的に推進する。
 - オ. 医療安全のための相談窓口としての役割と医療事故防止のためのツールに関する調査・研究（関連委員会との連携含む）
各施設での薬剤関連事故やその対策立案に関する相談を応需し、医療事故防止に向けた情報収集及び発信を行う。
6. 地域医療・地域保健での薬事指導・啓発に関する事業
- 独自の「府民くすり相談会」の開催並びに府内各地で開催される地域健康展への参画に加え関係団体からの講師派遣など協力要請に積極的に対応する。また、大阪府「薬と健康の週間」事業へ協賛するとともに、独自の医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動を行う。但しコロナ感染拡大が懸念される場合は、開催形式を考慮して行う。
- 講演会、くすり相談会、各種パンフレット配布など
- ア. 「府民くすり相談会」の開催
 1. 回数 1回（予定）
 2. 対象 大阪府民
 - イ. 関係諸団体と連携し各種イベントに協力
公益社団法人 大阪府精神障害者家族会連合会に協力
 - ウ. 大阪医科薬科大学が開催する市民講座に協力
主にくすり相談を実施、病院・診療所での勤務の経験を生かした医療用医薬品、サプリメントの適正使用に関する啓発活動を行う。
 1. 回数 2回（6月頃と11月頃の予定）
 2. 対象 大阪府民
 - エ. 貝塚市が開催する市民健康まつりに協力
大阪府薬剤師会と連携して、くすり相談を実施することで、医療用医薬品等の適正使用に関する啓発活動を行う。
 1. 回数 1回（10月頃の予定）
 2. 対象 大阪府民
 - オ. 「薬と健康の週間」事業への協賛と医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動
大阪府内「薬と健康の週間」事業への協賛に加え、参画する。関係諸団体と協調し、医療用医薬品の適正使用に関する啓発活動に協力する。
 - カ. 服薬遵守に支障がある者に対する医薬品の適正使用の啓発
高齢者、視聴覚障がい者、精神障がい者などに対して、医療用医薬品の適正使用に関する啓発と支援活動を行う。
 - キ. ホームページによる情報提供
 - ・会員および府民に医薬品の適正使用に関する情報を提供する。
 - ・研修会開催情報（オンライン開催含む）の提供と参加申込方法・参加費徴収方法の利便性の向上。
7. 麻薬・向精神薬並びに取扱において特に注意を要する医薬品の適正管理に関する事業
- 麻薬及び向精神薬取締法、医薬品医療機器等法、薬剤師法などの関係法規遵守の指

導講習会の開催及び同法に関する事項の調査・研究を行う。

ア. 麻薬及び向精神薬取締法等に基づく管理指導講習会

行政担当者による指導・啓発により、麻薬及び向精神薬取締法等関係法令の遵守と麻薬、向精神薬、覚醒剤原料等の規制対象医薬品の適正な管理、取扱いを周知する。

1. 回数 1回 (2023年9月予定)

8. 臨床薬学などについての広報に関する事業

本会が積極的に推進する臨床薬学等に関する各種活動から得られる成果をより広く活用させるための事業を行う。

ア. 広報誌『O.H.P.NEWS』の発刊

1. 内容 随筆、新薬の紹介、施設紹介、各部各委員会の調査・研究の成果発表、研修会・講演会などの催し連絡等
2. 発行部数 年11回 毎回 4,300部
3. 配布先 会員、国会図書館、関係官庁及び関係諸団体など

9. 薬物治療を中心に地域医療連携を推進する業務に関する事業

一般社団法人大阪府薬剤師会との共催で実施。あらゆる医療施設間同士の連携を想定し、急性期・慢性期疾患の薬物治療を双方向で安全かつ適正に服薬管理を継続的かつ的確に支援できる情報を収集するための調査を行う。時には、薬物治療に必要な医療機器やデバイスなどの取り扱いも含めた地域医療連携を推進するための研修会の開催を行う。

ア. 地域連携の推進に関する研修会等を開催する。

1. 回数 3回 (予定)
2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約450名 (予定)

10. その他目的を達成するために必要な事業

ア. 薬剤師の医療倫理に関する事業

- 1) 高い倫理観を維持し業務実施できる薬剤師用の啓発資料作成

イ. 病院・診療所薬局業務の拡充と管理運営の向上に関する事業

- 1) 病院・診療所薬局業務に関する調査・研究

- 2) 社会保険制度に関する研修・調査

- ・診療報酬改定を理解し次回改定に向けての要望を取り纏める
- ・社会保険制度全般に関する周知
- ・上記内容を踏まえた研修会の開催 (1回)

- 3) 精神科病院における薬剤師業務に関する調査・研究

府内の精神科病床を有する病院において、適正処方、ポリファーマシー対策等に向けたチームでの取り組みと精神科薬物療法認定薬剤師・精神科専門薬剤師の育成

- 4) チーム医療推進に関する調査・研究

- 5) 病院・診療所の外来などにおける患者支援業務に関する調査・統計の検討と業務支援につながる活動の企画

- ・情報交換会の内容の記録・資料化
- ・会員のニーズに合った勉強会開催の検討

- 6) 医療事故防止のためのツールに関する調査・研究

- 7) 研修制度の充実と将来的活用に関する調査・研究

- 8) 薬剤師業務全般に関わる相談窓口 (Q&A) の設置

- 9) 医薬情報活用能力の向上を目的とする研修会の開催

- 10) 患者臨床データを薬学的管理に活用するための技術向上を目的とする研修会の開催

- 11) 災害時に対応できる知識取得のための情報提供と協力支援体制の構築

災害に備えるための研修会の開催

1. 回数 1回 (予定)

2. 対象人員 府内に勤務する薬剤師など、約 200 名（予定）

12) 大阪府病院薬剤師会の運営に関わる業務量調査

負担軽減・効率化を図るためのタスクシフトの検討

ウ. 関係諸官庁・諸団体との連絡強化に関する事業

エ. 法規通達などの周知徹底の整備に関する事業

1) ICT 利用により会員施設へ法規通達などを伝達する機能整備に関する研究と推進

2) ファクシミリ同報システムを用いた情報提供の充実

3) インターネットによる情報伝達に関する調査・研究やその整備・保守に関する活動

4) 当会で運営しているインターネットおよび各種委員会メーリングリスト等を継続してより安定した環境整備を行う。さらに、ホームページを用いたアンケート等についても安定した環境・保守のための調査・研究を行う。

オ. 会員の親睦、福祉の向上、並びに病院薬剤師不足・偏在に関する事業

1) 入会・退会手続きの簡素化を進める。

2) 個人情報の適正な管理を行い、会員名簿の作成を行う。

3) 未加入施設に入会を働きかける。

4) 小規模病院、精神科病院などにおける薬剤師確保のための方策を検討する。

5) 薬学生向け病院研究会を主催するとともに、企業就職セミナーの活用などを通して病院薬剤師の魅力を発信する。

6) 地域医療介護総合確保基金を活用した薬剤師修学資金貸与事業等の活用に向け、大阪府における薬剤師の偏在状況や医療機関の充足状況等の調査を進め、大阪府と連携する。

カ. 日本病院薬剤師会近畿ブロック会活動に関する事業

1) 日本病院薬剤師会近畿ブロック会各種委員会の開催及び委員派遣

日本病院薬剤師会近畿ブロック会に属する中小病院および診療所における問題点について情報・知識を交換し、シンポジウムの開催、実態調査を実施する。

2) 日本病院薬剤師会近畿学術大会への協力

キ. 各種学会・研修会等への協力に関する事業

1) 全国診療所薬剤師協議会活動への協力

2) 薬科大学主催の卒後教育講座等への後援

ク. 財務と経理に関する事業

・年会費滞納者への徴収方法の継続検討。

・備品の購入検討や保管に関わる作業

・公認会計士、税理士と連携をとった会計管理

ケ. 支部活動

本会の目的及び事業遂行のため、各支部において学術研修会及び地域での薬事衛生講習会等を開催する。

コ. 新型コロナウイルス感染症関連対応

1) 行政への協力（地域住民への貢献）

コロナ禍における新型コロナワクチン接種会場への会員派遣等、行政への協力を通して地域住民の安全を推進する。

2) 会員の資質向上への対策

コロナ禍においても安全に自己研鑽が可能なように研修会の定員設定やオンライン活用など開催方法を工夫する。

サ. 2025 年大阪万博への協力準備

収支予算書内訳表

2023年4月1日から2024年3月31日まで

* 支部会計分を追加反映

(単位:円)

勘定科目	配賦基準	実施事業会計				その他会計	法人会計	内部取引 消去	合計	【参考】 ('23-'22) 増減	備考
		継1	継2	継3	小計						
		教育・研修	地域医療啓発	会誌発行		出版・広報					
一般正味財産増減の部											
I 経常増減の部											
i. 経常収益											
1 基本財産運用収入		0	0	0	0	0	2,000	0	2,000	0	
(1) 基本財産利息収入					0		2,000		2,000	0	銀行受取利息
2 会費・入金収入		0	0	0	0	0	35,036,000	0	35,036,000	0	
(1) 入金収入					0		900,000		900,000	0	@3,000×300名
(2) 正会員会費収入					0		25,200,000		25,200,000	0	@7,000×3,600名 @3,500×30名
(3) 特別会員会費収入					0		2,100,000		2,100,000	0	@7,000×250名
(4) 賛助会員会費収入					0		1,600,000		1,600,000	0	@10,000×160口
(5) 日病薬交付金収入					0		5,236,000		5,236,000	0	@1,360×3,850名
3 事業収入		5,750,000	0	1,309,650	7,059,650	0	0	0	7,059,650	△ 60,000	
(1) 研修会収入		4,750,000	0	0	4,750,000	0	0	0	4,750,000	△ 50,000	
① 新入局薬剤師研修会参加費		2,000,000			2,000,000				2,000,000	0	@10,000×200名
② 中堅薬剤師研修会参加費		120,000			120,000				120,000	0	@1,000×120名
③ 実務セミナー参加費		600,000			600,000				600,000	0	@2,000×300名
④ 研修講座シリーズ参加費		250,000			250,000				250,000	0	@500×500名
⑤ 患者支援推進委員会研修会参加費		155,000			155,000				155,000	0	@500×310名
⑥ 小規模病院委員会研修会参加費		100,000			100,000				100,000	0	@500×200名
⑦ 専門薬剤師育成委員会講習会参加費		400,000			400,000				400,000	△ 50,000	@500×800名
⑧ チーム医療推進研修会参加費		150,000			150,000				150,000	0	@500×300名
⑨ その他研修会収入		975,000			975,000				975,000	0	医療安全(200)、会員(30)、社会保険(150)、地域連携(450)、精神科(320)、薬学(50)、薬事制度(400)、ファーマシーマネージメント(150)、災害対策(200)
(2) 支部研修会収入		1,000,000	0	0	1,000,000	0	0	0	1,000,000	0	
(2) 雑誌広告等収入		0	0	1,309,650	1,309,650	0	0	0	1,309,650	0	
① 雑誌広告料				1,275,000	1,275,000				1,275,000	0	OHPNewsへの広告掲載料収入
② 雑誌購読料				34,650	34,650				34,650	0	
(3) 手数料収入		0	0	0	0	0	0	0	0	△ 10,000	
① 日病薬会費徴収代行手数料					0				0	0	
② 研究会認定手数料					0		0		0	△ 10,000	2年に一度集金(2023年度なし)
4 出版事業収入		0	0	0	0	0	0	0	0	0	
(1) 出版販売収入					0				0	0	
① 新入局薬剤師研修テキスト					0				0	0	
(2) その他の収入(出版)					0				0	0	
5 寄付金収入		0	0	0	0	0	380,000	0	380,000	0	
(1) 一般寄付金					0		180,000		180,000	0	

(2) 賛助金収入					0		200,000		200,000	0	日病薬からの賛助金(市民お薬相談会)	34	
6 その他の収入		0	0	0	0	0	2,000	0	2,000	△ 1,000		35	
(1) 受取利息					0		2,000		2,000	△ 1,000		36	
(2) その他の収入					0		0		0	0		37	
経常収益計		5,750,000	0	1,309,650	7,059,650	0	35,420,000	0	42,479,650	△ 61,000		38	
ii. 経常費用													39
1 事業費支出		14,820,000	1,000,000	12,630,000	28,450,000	195,000	1,480,000	0	30,125,000	△ 2,020,000		40	
(1) 教育・研修費		10,230,000	0	0	10,230,000	0	0	0	10,230,000	△ 300,000		41	
① 新入局薬剤師研修会開催費	直接対応	1,740,000			1,740,000				1,740,000	△ 40,000	新入局テキスト(出版企画)含	42	
② 中堅薬剤師研修会開催費	直接対応	770,000			770,000				770,000	△ 20,000		43	
③ 研修講座シリーズ開催費	直接対応	650,000			650,000				650,000	△ 20,000		44	
④ 実務セミナー開催費	直接対応	1,420,000			1,420,000				1,420,000	△ 40,000	総会時講演会費用	45	
⑤ 小規模病院委員会研修会開催費	直接対応	350,000			350,000				350,000	0		46	
⑥ チーム医療推進研修会開催費	直接対応	350,000			350,000				350,000	0	薬剤業務委員会	47	
⑦ 専門薬剤師育成委員会講習会開催費	直接対応	2,500,000			2,500,000				2,500,000	0		48	
⑧ 患者支援推進委員会研修会開催費	直接対応	500,000			500,000				500,000	0	患者支援推進委員会研修会費用	49	
⑨ その他研修会開催費	直接対応	1,950,000			1,950,000				1,950,000	△ 180,000	精神科、情報通信、医療安全、薬学生、社会保険、薬事制度、地域連携	51	
(2) 支部研修会費用	直接対応	2,000,000	0	0	2,000,000	0	0	0	2,000,000	0		52	
(3) 広報誌関係費	直接対応	0	0	12,085,000	12,085,000	0	0	0	12,085,000	△ 2,184,200	OHPニュース・発送関係費、原稿料等	53	
(4) 府民医療振興事業費		0	400,000	0	400,000	0	0	0	400,000	△ 15,000		54	
① 府民くすり相談会開催費	直接対応		300,000		300,000				300,000	0		55	
② 地域医療対策費	直接対応		0		0				0	△ 15,000		56	
③ 薬と健康の週間行事協賛及び医薬用医薬品適正使用に関する啓発活動費	直接対応		100,000		100,000				100,000	0		57	
④ 府民のための冊子「お薬Q&A」発刊費	直接対応		0		0				0	0		58	
(5) 事業対策費		30,000	0	0	30,000	0	780,000	0	810,000	△ 60,000		59	
① 会員名簿発刊費	直接対応	0			0	0	780,000		780,000	0		60	
② 実習生受入対策費	直接対応	10,000			10,000				10,000	0		61	
③ 生涯研修関係費	直接対応	10,000			10,000				10,000	△ 60,000		62	
④ 近畿ブロック病院・診療所勤務薬剤師対策費	直接対応	10,000			10,000				10,000	0		63	
(6) 出版事業費		0	0	0	0	0	0	0	0	0		64	
① 広告費	直接対応				0	0			0	0		65	
② 企画費	直接対応				0	0			0	0		66	
③ 通信連絡費	直接対応				0	0			0	0		67	
④ 租税公課	直接対応				0	0			0	0		68	
⑤ 雑費(出版)	直接対応				0	0			0	0		69	
(7) 会議費	会議実施回数	210,000	90,000	0	300,000	0			300,000	11,000	委員会web会議費	70	
(8) 情報通信費	事業従事人数	120,000	0	45,000	165,000	10,000			175,000	△ 50,000		71	
(9) 旅費交通費	会議参加者人数	1,910,000	250,000	500,000	2,660,000	180,000			2,840,000	△ 150,000	理事会・委員会実費弁償	72	
(10) 諸謝金	直接対応	0	50,000	0	50,000	0	0		50,000	30,000		73	
(11) 調査費	直接対応	60,000	50,000	0	110,000	0	200,000		310,000	210,000	調査費、病院実態調査経費等	74	
(12) 消耗備品費	直接対応	150,000	5,000	0	155,000	5,000	0		160,000	△ 10,000		75	
(13) 支払手数料	事業従事人数	10,000	0	0	10,000	0	0		10,000	△ 10,000		76	
(14) 印刷製本費	直接対応	10,000	0	0	10,000	0	0		10,000	5,000		77	

(15) 雑費	事業従事人数	90,000	155,000	0	245,000	0			245,000	7,000	78	
(16) 広告・宣伝費	直接対応						500,000		500,000	500,000	79	
2 管理費支出		0	0	0	0	0	13,460,000	0	13,460,000	600,000	80	
(1) 給与手当					0		3,460,000		3,460,000	200,000	81	
(2) 福利厚生費					0		730,000		730,000	0	82	
(3) 会議費					0		430,000		430,000	30,000	83	
(4) 旅費交通費					0		100,000		100,000	60,000	84	
(5) 通信連絡費					0		720,000		720,000	50,000	85	
(6) 消耗備品費					0		1,050,000		1,050,000	230,000	86	
(7) 印刷製本費					0		100,000		100,000	△ 10,000	87	
(8) 賃借料					0		2,330,000		2,330,000	0	88	
(9) 諸謝金					0		2,610,000		2,610,000	0	89	
(10) 図書資料費					0		0		0	0	90	
(11) 水道光熱費					0		70,000		70,000	0	91	
(12) 渉外費					0		30,000		30,000	10,000	92	
(13) 保険料					0		200,000		200,000	0	93	
(14) 租税公課					0	0	80,000		80,000	△ 10,000	94	
(15) 慶弔見舞金					0		50,000		50,000	0	95	
(16) 減価償却費					0		330,000		330,000	0	96	
(17) 雑費					0		790,000		790,000	40,000	97	
(18) リース料					0		380,000		380,000	0	98	
3 予備費							1,000,000		1,000,000	0	99	
経常費用計		14,820,000	1,000,000	12,630,000	28,450,000	195,000	15,940,000	0	44,585,000	△ 1,420,000	100	
当期経常増減額(A)		△ 9,070,000	△ 1,000,000	△ 11,320,350	△ 21,390,350	△ 195,000	19,480,000	0	△ 2,105,350	1,360,000	101	
II. 経常外増減の部												102
i. 経常外収益					0				0		103	
ii. 経常外費用					0				0		104	
当期経常外増減額(B)		0	0	0	0	0	0	0	0		105	
他会計振替額					0				0		106	
当期一般正味財産増減額		△ 9,070,000	△ 1,000,000	△ 11,320,350	△ 21,390,350	△ 195,000	19,480,000	0	△ 2,105,350		107	
一般正味財産期首残高					△ 103,736,640	896,416	220,864,498	0	118,024,274	2022年3月期	108	
一般正味財産期末残高					△ 125,126,990	701,416	240,344,498	0	115,918,924	見込み	109	

配賦基準	内容	該当科目
会議参加者数	各関連事業に係る会議参加者数により配分	旅費交通費
会議実施回数	各関連事業に係る会議の実施回数により配分	会議費
事業従事人数	関連事業従事人数により配分	通信連絡費、支払手数料、雑費
直接対応	その事業に計上すべきか明確な場合は、該当事業に直接計上。	上記以外事業費

2023年度 収支予算案の解説

【説明】	<p>昨年度より変更のあった箇所を「赤字」で表示 各部・委員会での事業計画に対する予算を配賦 コロナ禍等における不測の事態への対策費（100万円）を予備費に計上</p>
【概要】	<p>●収入 (右端番号38) 経常収益計 : 42,479,650円 (黄色塗りつぶし箇所)</p> <p>●支出 (右端番号100) 経常費用計 : 44,585,000円 (黄色塗りつぶし箇所)</p> <p>●収益差額 (右端番号101) 当期経常増減額 収支差額 △2,105,350円</p> <p>〈マイナス予算の主な原因〉</p> <p>(右端番号9) 事業収入の減少 (2022年度案より6万円減少 : 支部研修会収入・会誌広告料) (右端番号80) 管理費支出の増加 (2021年度案より約60万円増加) (右端番号99) 予備費 コロナ禍等における不測の事態への対策費 (100万円)</p>
【積算根拠 項目詳細】 (特記事項)	<p>i. 経常収益</p> <p>2. 会費・入会金収入 (右端番号3) 会費・入会金収入 : 2022年度案より変更なし</p> <p>3. 事業収入 (右端番号9) 事業収入 : 2022年度案より減額 (右端番号20) 支部研修会収入 : 2022年度案より変更なし (右端番号27) 研究会認定手数料 : 2年に一度集金 (2022年度集金ありのため2023年度は集金なし)</p>
	<p>ii. 経常費用</p> <p>1. 事業費支出 (右端番号40) 事業費支出 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号41) 教育・研修費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号42) 新入局薬剤師研修会関係費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号43) 中堅薬剤師研修会関係費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号44) 研修講座シリーズの開催費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号45) 実務セミナー開催費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号51) その他研修会開催費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号52) 支部研修会費用 : 2022年度予算案より変更なし (右端番号53) 広報誌関係費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号59) 事業対策費 : 2022年度案より減額 (右端番号70) 会議費 : 2022年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号71) 情報通信費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号72) 旅費交通費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号73) 諸謝金 : 2022年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく) (右端番号74) 調査費 : 2022年度案より増額 (臨時の病院実態調査経費等) (右端番号75) 消耗備品費 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)</p>

(右端番号76) 支払手数料 : 2022年度案より減額 (各部・委員会の申請に基づく)

(右端番号77) 印刷製本費 : 2022年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)

(右端番号78) 雑費 : 2022年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)

(右端番号79) 広告・宣伝費 : 新規事業 (学生向け合同研究会)

2. 管理費支出

(右端番号80) **管理費支出 : 2022年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)**

(右端番号81) 給与手当 : 事務職員4名分 (給与改定にともなう増加)

(右端番号83) 会議費 : 2022年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号84) 旅費交通費 : 2022年度案より増額 (各部・委員会の申請に基づく)

(右端番号85) 通信連絡費 : 2022年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号86) 消耗備品費 : 2022年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号87) 印刷製本費 : 2022年度案より減額 (上半期実績額を勘案)

(右端番号94) 租税公課 : 2022年度案より減額 (実績ベースへ修正)

(右端番号97) 雑費 : 2022年度案より増額 (上半期実績額を勘案)

3. 予備費

(右端番号99) 予備費 : コロナ禍等における不測の事態への対策費